

廃炉・汚染水・処理水対策事業に関する情報提供の募集（RFI）について

福島第一原子力発電所の廃炉は、世界にも前例のない困難な取組であり、「東京電力ホールディングス（株）福島第一原子力発電所の廃止措置等に向けた中長期ロードマップ（2019年12月改訂）」（以下「中長期ロードマップ」という）に基づく進捗管理や、技術的難易度が高い研究開発に対する支援を行うなど、国も前面に立って取り組むこととしている。

昨年9月の燃料デブリの試験的取り出しの着手をもって、中長期ロードマップの第3期に移行した。本年4月15日には2回目の試験的取り出しに着手し、23日に取り出しを完了した。原子炉格納容器内の内部調査の計画や今後の廃棄物保管・管理及び分析に関する検討も進められている。また、3号機における燃料デブリの大規模取り出しに向けた工法のエンジニアリング（工法検討）が東京電力HDによって行われており、本年半ばを目途に見通しが示される予定。

このような現場及びエンジニアリングの進展やニーズを踏まえ、福島第一原子力発電所の廃炉に向けて解決すべき技術的な課題、課題解決に向けた研究開発の実施内容、研究開発の規模などの情報を広く募集（RFI：Request for Information）することとする。

提供いただいた情報等を踏まえ、今後の廃炉研究開発計画の検討を進めていく。

<RFI 概要>

- ・実施者：廃炉・汚染水・処理水対策事業事務局
- ・募集期間：令和7年5月12日の週で開始予定。期間は6週間程度を想定。
- ・ご参考：昨年のRFI案内

<https://dccc-program.jp/6495>

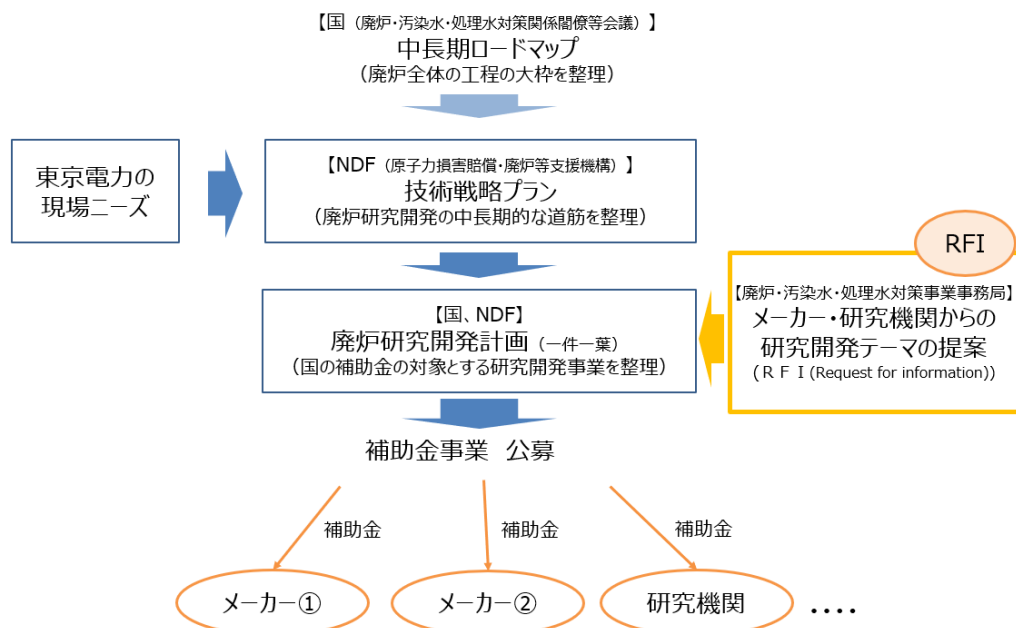


図 RFI の位置づけ